

第1回 村上市地域公共交通活性化協議会 会議録

1. 開催日時：平成26年6月20日（金） 午前9時30分から午前10時30分

2. 開催場所：村上市生涯学習推進センター 2階大・中会議室

3. 出席者：（敬称略）

【出席委員】 大滝会長、田巻(耕)委員、小田(修)委員、藤木委員（田邊調査係長代理出席）、清水委員、長谷部委員、磯部委員、櫻井委員、大嶋委員、本間委員、佐藤委員、小田(孝)委員、田巻(均)委員、川崎委員、水野委員（渡邊係長代理出席）、白砂委員、碓井委員、井上委員、佐野委員、齊藤委員、島田委員、板垣(栄)委員、富樫委員

【欠席委員】 石塚委員、林委員、船山委員、建部委員、伊藤委員、板垣(圭)委員

【委員以外】 株式会社瀬波タクシー、坂町タクシー株式会社、藤観光タクシー株式会社、株式会社はまなす観光タクシー、新潟交通観光バス株式会社村上営業所（オブザーバー）

【事務局】 大滝、太田、國井、本間（村上市）

4. 傍聴者：0人

5. 会議次第

1 開 会

2 挨拶（会長）

3 委嘱状交付

4 委員及び事務局員紹介

5 副会長及び監査員の任命について

6 議 事

〔報告事項〕

（1） 村上市地域公共交通活性化協議会について

（2） 平成25年度事業報告及び決算報告について

（3） 運行の状況について

（4） その他

〔協議事項〕

議題1 平成27年度 生活交通ネットワーク計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)について

7 その他

8 閉 会（副会長）

6. 会議資料

【配付資料】 議事次第 出席者名簿 配席図 運行利用状況等

【議事資料】

資料1. 村上市地域公共交通活性化協議会について

資料2. 平成25年度事業報告・決算報告・会計監査報告書

資料3. 運行の状況について

議題1. 平成27年度 生活交通ネットワーク計画(地域公共交通確保維持事業のうち地域内フィーダー系統関係)

7. 会議経過

1 開 会

○大 滝 事 務 局 長：それでは、本題の平成26年度第1回村上市地域公共交通活性化協議会を開催させていただきます。議事次第に沿って進行させていただきます。よろしくお祈いします。最初に、本協議会の会長がご挨拶を申し上げます。よろしくお祈いします。

2 挨 拶（会長）

○大 滝 会 長：皆さんおはようございます。市長の大滝でございます。毎日ワールドカップ、非常に熱戦が続いています。残念ながら日本、さっき試合終わりました、零対零で引き分けたということでございまして、第1次リーグ突破は非常に難しくなってきたような状況でございますが、次に期待をしたいと思っているところでございます。

本日は皆様にはご多用の中にもかかわりませず、平成26年度第1回村上市地域公共交通活性化協議会にご出席をいただきまして、まことにありがとうございます。厚くお礼を申し上げます。また、本協議会は本年度委員の改選に伴いまして、本日ご参加の委員の皆様にはご依頼させていただきましたところ、快くお引き受けをいただきまして、これまた感謝を申し上げる次第でございます。ご案内のように本市内では既にまちなか循環バス、せなみ巡回バスといった環状型の周回バス運行に加え、利用者の健康を維持する目的での通院支援を支えるデマンド型タクシー、学生、通勤のための路線バスの維持、この3つの柱を主に展開してまいりました。過去の協議会委員様の活発な議論のおかげで安定的な運行が続いておりますことをご報告させていただきます。本日は本協議会が本年計画しています国の地域内フィーダー系統確保維持計画が主な議題となっております。また、本年から始めた学割回数券等の速報値の報告があります。委員の皆様にはいろいろな観点からご意見やご提案をいただきますようお願いを申し上げます。開会に当たりましての挨拶にかえさせていただきます。よろしくお祈いします。ありがとうございました。

3 委嘱状交付（代表受領）

4 委員及び事務局員紹介

5 副会長及び監査委員の任命について

6 議 事

○太 田 課 長 補 佐：それでは、本会の成立についてご報告いたします。本協議会につきましては、協議会規約にありますとおり過半数をもって協議会を成立することとなっております。本日出席委員の皆様につきましては、過半数を超えておりますので、本会議は成立することをご報告いたします。

副会長に一言ご挨拶をお願いいたしたいと思っいます。

○佐 野 副 会 長：長岡技術科学大学の佐野と申します。副会長何回目かやらせていただいております。いろんなところの協議会に参加させていただいて、それぞれの事業いろんな問題があつて、なかなか厳しい問題が多いと思うのですが、特に村上市は面積も広いし、非常にハンディがある中でいろんな例えば学割ですとか、そういったこともいろいろ取り組まれているので、ますます今後とも知恵を生かしていただいて、公共交通の維持に邁進していただければと思

います。よろしくお願いいたします。

- 太田課長補佐：ありがとうございます。それでは、これより議事に入りたいと思います。協議会規約第11条の規定により、会長が協議会の議長を務めることとなっておりますので、これより先につきましては会長による議事の進行をお願いしたいと思います。会長、よろしくお願いいたします。

〔報告事項〕

(1) 村上市地域公共交通活性化協議会について(資料1)

- 大滝会長：それでは、定めによりまして、私が暫時の間議長を務めますので、よろしくお願いいたします。早速6番の議事に入らせていただきます。報告事項(1)番、村上市地域公共交通活性化協議会についてを説明してください。

○事務局：---資料1に基づき詳細に説明---

- 大滝会長：ただいま報告事項の1番について、活性化協議会についての説明がございました。よろしゅうございますか。

(異議なしの声あり)

(2) 平成25年度事業報告及び決算報告について(資料2)

- 大滝会長：それでは、(2)番の平成25年度事業報告及び決算報告についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○事務局：---資料2に基づき詳細に説明---

- 委員：監査委員の齊藤でございます。代表で監査報告書を読ませさせていただきます。平成25年度会計監査報告書。村上市地域公共交通活性化協議会規約第10条の規定により、平成25年度村上市地域公共交通活性化協議会会計を監査した結果、歳入及び歳出に関する帳簿並びに証拠書類等はいずれも適正に処理されていることをご報告申し上げます。平成26年5月9日。監査委員、齊藤茂並びに監査委員、島田好。以上でございます。

- 大滝会長：それでは、ただいま(2)番の平成25年度事業報告及び決算報告について事務局から説明がありました。これらについて皆さんからご意見、ご質疑等をいただければと思います。はい、どうぞ。

- 委員：補助金という項目があるのですが、それは予算も決算もないと。これは、これから国や県からの補助金とかそういったのは一切ないのであれば、この項目はなくてもよいのでなかろうかと。それから、もう一点、現在補助金が入っていないけれども、いつか補助金があるのか、その辺どうなっているのか聞かせてください。

- 大滝会長：はい、どうぞ。

- 事務局：委員ご指摘のとおり補助金の項目につきましては、今後必要となるかどうか判断をいたしまして、次年度に項目の計上の必要がない場合であればこの部分をカットさせていただきたいと、そのように考えております。それと、運賃収入につきましては委託料支払い時に運賃分を既に差し引いた形での委託料の支払いとなっておりますので、これはあくまでも委託料を引いてかかった経費について支払いをしていると。運賃収入は、既に委託料の中から差し引きされているものということでご了解願いたいと思います。

- 委員：わかりました。

- 大滝会長：ということでございますので、よろしくお願いいたします。ほかにございましたらお願いします。しばらくしてご意見、ご質疑ないようでございますので、

(2) 番、平成25年度事業報告、収支決算報告についてはご承認させてもらってよろしゅうございますか。

(異議なしの声あり)

○大 滝 会 長：ありがとうございます。

(3) 運行の状況について(資料 3)

○大 滝 会 長：続きまして、(3) 番、運行の状況についてを事務局から説明をお願いします。

○事 務 局： - - - 資料 3 に基づき詳細に説明 - - -

○大 滝 会 長：ただいま(3) 番の運行状況について説明がありました。このことについて皆さんからご意見、ご質疑等をいただきたいと思います。しばらくしてご意見、ご質疑ないようでございますので、(3) 番、運行の状況についてはご承認させてもらってよろしゅうございますか。

(異議なしの声あり)

○大 滝 会 長：ありがとうございました。

(4) その他

○大 滝 会 長：(4) 番、その他でございますが、事務局からございましたらお願いします。

○事 務 局：(4) につきましては、事務局からの報告はございません。

○大 滝 会 長：皆さんからその他、何でも結構でございますので、ご意見等ございましたらお願いします。はい、どうぞ。

○委 員：磯部でございます。私もこの会議初めて出席させていただきまして、それで今のバスの利用、それから病院関係来る方に一応聞いてみたら、我々は割引がないと。特に岩船のほうは全然メリットがないという逆におしかりを受けてきました。それをきょうの会議に一応計らってくださいと。資料も持せなんですが、とりあえず岩船に関しては何もメリットがないといったのが現状でございます。私も初めて会議出席させていただきまして、皆さんの意見をお聞きして、またその返答をまちのほうに持っていきたいと思います。そういったことでこれからの議事に対してよろしくお願ひしたいと思います。以上です。

○大 滝 会 長：はい。

○事 務 局：大変ありがとうございました。岩船の住民の皆様につきまして、割引等なかなか恩恵等がないと、乗りやすい状況ではないということにつきましては私も真摯に受けとめさせていただきたいと思います。ですが、先ほど事務局員のほうから説明ありましたとおり岩船にはリハビリテーション大学、こちらがございます。今後看護学校も進出されるような話も伺っております。この方々の移動支援ということで、学割につきましては高校生だけではなく大学生、専門学校生も利用可能ということで、岩船の中だけではなく、中と外を活性化のためにつなぐための一手段として学生支援を考えておりましたので、その効果が今後徐々に出てくることも期待しておりますので、その辺のところはご了解いただきたいと思います。

○委 員：わかりました。ありがとうございます。

○大 滝 会 長：そのようなことで磯部さん、地元に戻りましたら説明してください。ほかにございましたらお願いします。ないようでございますので、報告事項は以上とさせていただきます。

〔協議事項〕

議題 1 平成27年度 生活交通ネットワーク計画

(地域内フィーダー系統確保維持計画)について

- 大 滝 会 長：続きまして、協議事項に入らせていただきます。議題の1番、平成27年度生活交通ネットワーク計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。
- 事 務 局： - - - 資料 議題1に基づき詳細に説明 - - -
- 大 滝 会 長：ただいま協議事項の1番について報告がございました。これらについて皆さんからご意見、ご質疑等をいただきたいと思います。はい、どうぞ。
- 佐 野 副 会 長：事業の目標で人数が出ておるのですけれども、実績を見ると実績よりも少しというか、かなり低目の値が入っていると思うのですけれども、目標は達成したほうが良いと思うのですけれども、その辺の理由といたしますか、どういう根拠で少ない数を入れているのでしょうか。
- 事 務 局：今回評価基準の見直しをもう一度行いまして、1つが通算、通して同じ路線で1年以上行っていないということもありまして、今まで運行してきたところの月数で最低の人数を数字として上げさせていただきました。ちょっと憶病な数字だと言えは憶病な数字なのですけれども、今後急激な利用者の減等も勘案して、それほど悪くない数字ということで報告したいと思ひまして上げさせていただきました。
- 大 滝 会 長：ほかにございましたらお願いいたします。このパンフレットいっぱいあるのですが、これは説明するのですか。
- 事 務 局：それは、参考までに添付した資料で、利用者の方々の目線に立ってこういうPRを行っておりますという資料でございます。
- 大 滝 会 長：概略説明したほうが良いのではないですか。概略でいいから。
- 事 務 局：それでは、概略を説明させていただきたいと思ひます。まず、せなみ巡回バス時刻表、あべっ車時刻表というふうなものがあひまして、これがまちなか循環バス、環状型のバスが運行してあります。地域は大回り、小回りといひまして、旧村上市のまちなかを観光及び買い物等外出支援ということで行っております。あと、もう1路線がせなみ巡回バスといひまして、瀬波温泉を中心とした巡回型のバスになってあります。こちらのほうにつきましては従来それぞれ一枚物の別々のパンフレットとしてあります。しかしながら、利用される方のことを考慮しまして、今回両開きの形で全て両区間とも1枚のものとしてさせていただきました。こちらにつきましては、多少字が細かいという指摘もあつたのですが、観光客の方を中心に非常に見やすく持ちやすいということで好評を得てあります。続きまして、学割半額というふうなものをござんください。これ学生支援を目的としたチラシになってあります。従来の運賃よりも半額で、使いやすさを強調しているということで、ことしの4月から運用を行っております。続きまして、黄緑色の荒川・神木のりあいタクシーです。これは、目的としては通院を目的としてあります。はぐっていただいて、各地区によって料金体系が決まっております。ことしの4月から行き4便と、帰りの2便を変更してあります。続きまして、黄色い色の紙をお願いします。これは、神林地区に配られているのりあいタクシーのチラシになります。荒川地区と同様に通院支援を目的として行っております。は

ぐっていただいて、中を見ますと地区ごとに料金表が決まっております。先ほどの黄緑と黄色の紙は、荒川地区、神林地区の坂町病院の通院を目的としております。次に、薄いブルーの紙をごらんください。これは、神林地区の通院支援で、村上総合病院のほうに向かう路線を支援していく目的で作られました。これもはぐっていただきますと地区ごとに料金が決まっております。次に、ピンクの紙をごらんください。これは、朝日地区の皆様にも同様のサービスを行うということで、村上病院に対しての通院支援を行っております。次に、竹色の紙をごらんください。これが瀬波地区の方の通院支援を行っているものです。村上総合病院を対象としております。最後に、山辺里地区の通院支援になりますけれども、これも黄色い一枚紙のものになっております。これも村上総合病院を対象としております。基本的にタクシー会社様もしくは予約センターのほうに前日までに予約していただいて、その運行を予約した結果をこちらからとか、タクシー会社さんが管理しまして迎えに行ったり、送ってあげたりということになっております。これが今村上市で行われている公共交通のサービスの概要になっております。以上になります。

○大 滝 会 長：今事務局から協議事項の議題1番について説明がありました。加えて、参考の資料についても説明をいたしたわけですが、これらについて皆さんからのご意見、ご質疑等ございましたらお願いしたいと思います。はい、どうぞ。

○委 員：これ一応全部そうなのですけれども、予約は利用日の1週間前から前日まで、当日はだめなのですね。電話で予約をする形になっているのですけれども、これだとその日にちょっとぐあいが悪いという状態になったときに、遠いところの人はタクシー片道で4,000円も5,000円も出して行くとなると相当金額的にかさむので、そういう利用者の方のためにある地域では当日1時間前ならオーケーという地域もあるのだそうです。この辺で一番近いのは胎内市ですか。これは、鍬江から中条ゴルフまでかなりの距離なのですけれども、乗り継ぎをかけても300円、それから当日1時間前まで利用者オーケーです。こうすると、利用する人間もふえていくはずですよ。お金に関しても、お年寄りだと年金ですけれども、そういうやつを使えば多少でも利用者がふえるだろうし、いろいろ審議をいたしておるのだろうけれども、その辺をもう少し考えてもらえたらいいかなと僕は思うのですけれども、どんなものでしょうか。

○大 滝 会 長：はい。では、答えを。

○事 務 局：ご意見ありがとうございました。そういった面で利用者側とすれば確かにもっと迅速な対応というのを求める部分というのが出てくるかと思えます。しかしながら、現段階の運行につきましては通常のタクシー事業の分野もございまして、その辺の兼ね合いもありまして、どこまでが領域に入るのかというのは今後また協議なり詰めていく必要があると思えます。ニーズとしましては、お隣の胎内市さんの事例というのは当然私どもも了知はしているのですけれども、胎内市さんと違う部分がありまして、こちらのほうにつきましては通常の路線バス、その他の交通機関等も残って維持している状態ということもありますので、今後またニーズにつきましては把握に努めて、必要であれば、またご審議いただくような形をとりたいと思っておりますので、ご了承願いた

いと思います。

○大 滝 会 長：それでは、今後状況を見ながら判断させていただくということによろしゅう
ございますか。

○委 員：はい。

○大 滝 会 長：はい、どうぞ。

○委 員：荒川の櫻井でございますけれども、今と関連しますけれども、私ども胎内と隣接しておるものですから、買い物とか、あるいは整形外科の病院、中条中央病院、いろいろなところへ荒川地域からどんどん行っている住民がおります。逆に胎内市の市民の皆さんが坂町病院に通院されている方もありまして、のれんす号というバスが頻繁に来ております。ぜひ胎内市とのそこら辺の関連にもスポット当ててご検討いただきたいと思います。よろしく願います。

○大 滝 会 長：はい、どうぞ。

○事 務 局：このご意見につきましては、従前からずっとお受けしましたご意見でございます。言いわけということではないのですけれども、実は胎内市の、のれんす号が坂町病院までの乗り入れを行っているという背景につきましては、地形の問題があります。もともと海老江を通りまして、胎内方面までずっとバスが延伸しておりました。そのバス利用の形態の中で医療通院をなさる方、特に桃崎浜等海岸部分につきましては、胎内市民の方が坂町病院が非常に近いということで利用されているという実態がありました。胎内市側としましては、その部分を絶対需要が多い中で走らせなければならないといった背景もございます。私ども村上市につきましては、当然胎内市側への需要があることも存じております。また、買い物につきましても荒川の住民の方につきましては胎内市側へ向かうという部分が往々にしてあるということも十分わかっております。しかしながら、私どもで以前策定しました連携計画というのがございまして、それにつきましては中心市街地の活性化、商店街の活性化、この辺もにらみながらやっていきたいと。ついては村上市の中でも点在しています各商店街につきましては今後活性化していきたいと。そのために中に向かう部分を重点的にやろうということで考えておりますので、私どもの検討の時間もいましばらくいただきますが、その辺の趣旨もご理解いただきたいと思います。

○大 滝 会 長：荒川地区におきましては、今後大型スーパー2店出店する計画があるということでございますので、その時点での対応もこれから考えていかなければならないなと思っております。そのように捉えておりますので、よろしく願いをしたいと思います。ほかに、はい、どうぞ。

○委 員：磯部です。またタクシー、バスの件ですけれども、村上総合病院、坂町病院はちょっと遠いですが、村上総合病院の場合やはりマイカーでも足が不自由だということでタクシー使っておる方もございます。病院までタクシーを使うと約2,000円かかるわけですから、そういった方が私のほうにもお願いということで来ております。幾らかの割引、回数券というか、そういうのもあるのでしょうか。そこらあたりお聞きしたいのですが、よろしく願います。

○事 務 局：今のご質問なのですが、いわゆる交通弱者対策ということで高齢者、障害者

の方の移動支援につきまして、本協議会につきましては正直申し上げまして特定の方というのは学生さん以外は持ち合わせておりません。ニーズがあることは当然承知しておりますが、他の福祉施策との兼ね合いが出てきます。その辺につきましては私どもも研究課題ということで常に持っておりますので、これは今度協議会だけではなくて、市の行政内部として研究させていただきたいと思っておりますので、ご了解願いたいと思っております。

○委員：わかりました。

○大 滝 会 長：ただいまの問題については介護高齢課長も来ておりますが、あなたの担当の部分になってくるわけですが、今後検討をしていくというようなことなのか、それともどういう今現状なのかちょっと話ししてください。

○委員：高齢者の方の生活支援という位置づけになろうかと思いますが、高齢者の第6期の計画これからつくるわけでありまして、十分その辺も検討していきたいというふうに考えております。

○大 滝 会 長：そういうことでご理解いただきたいと思います。よろしく申し上げます。ほかにございましたらお願いいたします。しばらくしてないようでございますので、協議事項の議題1番、平成27年度生活交通ネットワーク計画についてはご了承いただきました。ありがとうございました。

7 その他

○大 滝 会 長：7番、その他についてでございますが、事務局からございましたらお願いいたします。

○事務局：それでは、最後に事務局からなのですが、4月にお便りした委員様の推薦の通知に次回協議会は9月とお知らせいたしました。11月に変更させていただきたいと思っております。理由は、次回協議会の議題の一つが事業評価というものになっておりますが、今年度から評価時期が変更となりました。対象となっている平成26年度の決算がことしの9月以降にならないと判明しないことから、次回協議会を2カ月送りまして11月に開催させていただきたいと思っておりますので、日程変更のほうよろしくお願ひしたいと思っております。以上です。

○大 滝 会 長：皆さんからそのほかございましたらお願いいたします。ないようでございますが、私からきょう区長さんが大勢おいでいただきますので、ご報告をさせていただきたいと思っておりますが、きょうの新聞にも、新潟日報にも出ておりましたが、今、国は頑張る地域に交付金を差し上げる、頑張らない地域には差し上げないというような交付金を発行いたして、交付いたします。村上は、新潟30市町村あるわけでございますけれども、一番金額が多く、第1位でございます。それだけ頑張っている地域ということでございまして、各地区の区長会で要望があるような事柄について積極的に事業を進めたいと。金額にて約4億3,000万ぐらい来ておりますので、それぞれの支所等にかけていただいて、事業を進めていただければありがたいなと、そのようにお願ひを申し上げます。以上で議事を終了させていただきます。大変ありがとうございました。

○太田課長補佐：ありがとうございました。それでは、最後に佐野副会長様からご挨拶をいただきたいと思います。佐野様、お願いいたします。

8 閉 会（副会長）

○佐野副会長：先ほどもお話ししましたが、資料とか見えていますと特に村上市まちなか循環バスとかいうのは月を追うごとに人もふえていますので、やはりある程度目標を高く設定して、それをクリアするという事のほうがか何かいろいろ前向きでいいのかなというふうに思いますので、順を追ってやっていただければと思います。どうもありがとうございました。

○太田課長補佐：ありがとうございました。以上をもちまして、第1回村上市地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。お帰りの際にはお気をつけてお帰りいただきたいと思います。どうもありがとうございました。

（午前10：30終了）